

千葉県議会議員 | 千葉県議会報告 ゆう Can Change! vol.63

〈我孫子市選出・無所属〉 会派「千葉新政策議員団」代表

みずの 水野 ゆうき



千葉県の令和8年度当初予算の一般会計は総額 **2兆2534億8700万円**で可決しました。コロナ下を除くと最大規模となり、(一部)新規事業は94件にのぼります。水野ゆうきは無所属議員で構成する千葉県議会の会派「千葉新政策議員団」の代表として、物価高騰対策・教育課題を中心に予算委員会にて徹底的に質疑を行い、重要予算を確保しています。

県民生活を
バックアップ!
物価高騰対策①

我孫子市を含む千葉県内各水道事業体に20%、4か月分 水道料金の財源交付! ~水道料金減免事業実施~

昨今、耐震化や老朽化した施設の更新費の増加、人口減少による料金収入減等により県内各水道事業体で水道料金の値上げが相次ぎ、**我孫子市においても令和8年4月1日から水道料金が平均31.8%値上げ改定**されます。そこで千葉県は国の重点支援地方交付金を活用して水道料金の減免を実施し(予算額99億円)、市町村等が運営する県内水道事業体に対しては**一般家庭向けの水道料金の20%、4ヶ月分の財源を支援**します。水野ゆうきの質疑・要望に対し、千葉県からは**それぞれの市町村等の実情に応じた減免が実施できるよう、財源を交付し、対象、時期、方法は事業体(市町村等)に委ねることとした**との答弁がありました。なお、我孫子市では令和8年10月頃の開始を目標に基本料金4か月分の減免を実施する予定です。

県民生活を
バックアップ!
物価高騰対策②

~学校給食で食育推進~ 公立小学校実質無償化! 千葉県、第3子以降の公立中学校等給食費無償化事業継続へ!

児童生徒の健全な発達に欠かせない学校給食は物価高騰の影響を強く受けており、全国的に学校給食における食育の充実に課題が出てきています。**今年4月から全国の公立小学校で給食費が抜本的に負担軽減され、実質無償化**となります。負担割合は国1/2、県1/2で補助額は児童一人当たり月額5,200円(特別支援学校は6,200円)で、千葉県は166億円の予算を充てます。千葉県内公立小学校の学校給食費の平均月額は4,794円(特別支援学校小学部は5,710円)です。また、千葉県では我が会派から要望していた**第3子以降の千葉県内公立中学校等給食費無償化事業も継続**することとしました(対象生徒約1万3千人)。加えて、食材等の価格が高騰していることから**千葉県は今年4月より給食を実施している県立学校に対して食材費の高騰分についても負担することも決定**しました。負担軽減事業に伴い、量と質の確保とともに食育の推進を要望しました。

中小企業を
バックアップ!

中小企業支援の充実~適切な価格転嫁とデジタル実装支援~

2025年の千葉県内企業の休廃業・解散件数は2,382件(帝国データバンク)と高水準です。昨今の物価高騰による原材料費やエネルギー価格の上昇や人手不足は県内中小企業の経営に大きな影響を与えています。水野ゆうきの質疑により、**千葉県内中小企業の価格転嫁率は46.1%にとどまっている**ことが明らかになりました。これは例えば、コストが100円上昇した場合に46円しか価格に転嫁できていないということです。

水野ゆうきの質疑と要望

- 適切な価格転嫁の実現に向けた支援
- デジタル技術の導入など人手不足を補う生産性の向上等を図るデジタル化支援強化
- 商工会・商工会議所への支援充実

千葉県の令和8年度の支援と取り組み

- 中小企業診断士等の専門家派遣による価格交渉のアドバイスの伴走支援は延べ900社を目標。セミナー開催は5回から8回に増やし、コスト増を適切に価格転嫁できる環境づくりに努めていく。
- デジタル化支援ではプッシュ型による企業訪問を通じた支援ニーズの掘り起こしからITベンダーとのマッチング、フォローアップまで一貫した伴走支援を実施。
- 商工会等への支援では、企業支援の要となる経営指導員の育成を担う専門職員を配置し、支援スキル向上のための研修対象範囲を拡充。さらに経営指導員の人件費補助単価の更なる引き上げを行い、商工会等の企業支援体制の充実を図る。

県民の安全を
バックアップ!

通学路含む県管理道路の安全対策充実!

水野ゆうきの質疑と要望

- 令和3年度に実施した小学校通学路緊急点検の進捗状況と推進について
- 県管理道路における草木の伐採
- 横断歩道や一時停止などの道路標示補修

千葉県の令和8年度の支援と取り組み

- 教育委員会所管1,527箇所、警察所管606箇所は対策完了。県が道路管理者として対策を実施すべき709箇所については令和7年度末までに678箇所が完了見込み。残る31箇所については早期整備を進める。
- 見通しが確保できない箇所の除草対策等として**28億1,536万円確保!**さらに中央分離帯や路肩、道路法面において、**コンクリートの打設による雑草の発生を抑制する抜本的な対策箇所を拡大。**
- 道路標示に係る**予算約4億2千万円確保!**警察官による認知や住民からの情報提供等により、**摩擦の進行度合の把握に努め、順次、補修を進める。**

「県を動かす我孫子市に！」千葉県から我孫子市をバックアップし、我孫子市のために奔走します。

実現！ 令和 8 年度も手賀沼の外来水生植物対策費の予算を確保！

水野ゆうきが手賀沼の環境保全について積極的に取り組む中で、熊谷知事に手賀沼の現地視察にも来ていただき、湖沼における外来水生植物対策に関する予算を毎年度確保しています。再生力と繁殖力が強力なナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイ対策は地域住民、市民団体、行政で連携し、早期発見・早期駆除・適正管理が何よりも重要です。令和 8 年度も湖沼における外来水生植物対策事業として 2 億 7 千万円を確保しました！

【湖沼における外来水生植物対策事業 2 億 7 千万円の内訳】

- 手賀沼及びその流域河川の駆除費用として 1 億 6,472 万 1 千円
- 印旛沼及びその流域河川の駆除費用として 8,654 万 6 千円
- 外来水生植物の駆除に取り組む市民団体への助成として 1,503 万 9 千円

農業にも深刻な被害～農家への外来水生植物防除支援強化！～

外来水生植物が農業用排水施設や農用地に侵入し、農業への影響が懸念されています。そこで、千葉県は、農業者等で構成する組織や市町村や土地改良区が管理する農業水路等での外来水生植物の駆除対策にかかる費用の補助を県単独で開始し、水野ゆうきから活用拡大に向けた取り組みを要望しています。ぜひご活用ください。

【農業者等で構成される組織が取り組む外来水生植物防除事業】

地域の農業者等で構成される組織が保安全管理している農業用排水施設や農用地で駆除に必要な軍手、ブルーシート、除草剤のほか、流入・流出を防止するネットなどの購入費、運搬委託などの駆除活動にかかる経費等を千葉県が3分の2補助します。



市民団体と駆除作業する水野ゆうき

問い合わせ：
農林水産部農地・農村振興課
TEL. 043-223-2858

指摘！

いじめ認知件数・重大事態増加と教員未配置問題 ～なぜ被害児童生徒が教室を去らなくてはならないのか～

千葉県におけるいじめの認知件数は全校種において高止まりの状況にあります（右図参照）。いじめ重大事態^(※)の件数は、令和 2 年度が 24 件であったのに対し、令和 5 年度が 102 件、6 年度が 52 件と増加の傾向にあります。水野ゆうきの質疑により令和 6 年度の千葉県公立小・中・高校における不登校児童生徒数 17,777 人のうち、いじめが要因の不登校は 171 人ということが明らかになりました。さらに千葉県内の児童が自殺した件について、調査の結果、いじめ行為が直接的な因果関係と認められたにも関わらず、千葉県では一度も加害児童生徒に対して出席停止をしていないとの答弁がありました。加害者が学校に居残り続け、被害者だけが学習の機会を奪われている環境を改善すべきです。

学校種別いじめ認知件数（県公立学校）（単位：件）

区分	R6 年度	R5 年度	R4 年度	R3 年度	R2 年度
小学校	46,562	46,584	45,316	43,688	34,206
中学校	7,031	6,857	6,489	6,681	5,144
高等学校	979	860	732	910	640
特別支援学校	小学部	37	57	48	58
	中学部	22	22	44	45
	高等部	93	75	91	96
特別支援学校計	152	154	183	199	240
いじめの認知件数	54,724	54,455	52,720	51,478	40,230

※いじめ重大事態とは…① いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。
② いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

出典：児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

深刻な教員の未配置問題～未配置は合計 285～

千葉県における教員未配置数は小学校 165、中学校 55、高等学校 14、特別支援学校 51、合計 285 と深刻な状況です（令和 7 年 12 月 1 日時点）。令和 7 年度実施の教員採用候補者選考第 1 次選考では募集人数約 1,700 人に対し志願者数は 4,232 人となり、ここ 5 年間で約 1,000 人減少し、志願倍率はこの 5 年間で 0.8 ポイント減の 2.5 倍となっていることが水野ゆうきによる質疑で明らかになりました。本来配置されるはずの教員がいない場合、一番影響を受けるのは児童生徒です。教員不足・未配置、多忙化等により教員が児童生徒と向き合う時間が確保できなくなっています。教員の働きやすい環境整備に向け、まずは処遇改善と負担軽減が必要不可欠です。

【令和 8 年度の千葉県の教員の多忙化対策】
18 億 2,930 万円

- ① スクール・サポート・スタッフの配置【配置人数】小中学校 938 人、特別支援学校 37 人、高等学校 20 人
- ② 副校長・教頭マネジメント支援員の配置【配置人数】小中学校 62 人、特別支援学校 4 人、高等学校 19 人
- ③ 部活動指導員の配置【配置人数】中学校 178 人、県立高等学校 5 人

問題提起！ 千葉県選管、衆院選で過労死ライン超え〈残業最多 261 時間、平均 229 時間〉

2 月 8 日投開票の衆院選の業務にあたった千葉県職員 13 名全員の 1 カ月間（1 月 10 日～2 月 10 日）の残業時間が過労死ライン 80 時間をはるかに超え、平均残業時間が 229 時間、最も多い職員で 261 時間ということが、水野ゆうきの質疑で明らかになりました。このことは各種メディアで大きく報道され（読売、毎日、東京新聞、千葉日報等）Yahoo トピックスにも掲載されたことで、選挙制度の議論に一石を投じました。1～2 月の時期は地方行政は新年度予算編成、議会对応と重なり、加えて戦後最短の選挙スケジュールであったため準備期間が短く、行政職員に相当な負担がかかりました。

課題と対策

水野ゆうきから、過労死ラインを越える職員の健康確保に最大限配慮して、産業医との面談を必ず受けさせるなどフォローの徹底を要望しました。国は「働き方改革」を推進している一方で、古い選挙制度によって現場では健康を害するほどの働き方が強いられます。地方の現場の実態を明らかにすることで、現場で省力化を図りつつ、国において抜本的な改革をしていく必要があります。



千葉県議会予算委員会にて

水野ゆうきのプロフィール 1983 年 2 月 19 日、我孫子市生まれ・育ち・在住。我孫子市立第四小学校入学。○父の転勤で小学 3 年で米国 LA へ移住。ロサンゼルス現地小学校卒業。ロサンゼルスインターナショナルスクール編入。○帰国後は茨城県私立茗溪学園中学校編入、同校高校卒。○2005 年、津田塾大学学芸学部国際関係学科卒。津田塾大学卒業生ロールモデル 120 人に選出。○民間企業に勤務後、2011 年我孫子市議会議員選挙最年少当選（当時 28 歳）。2015 年、2019 年、2023 年千葉県議会議員選挙 3 期連続当選（すべての選挙において無所属で当選）。

水野ゆうきの主な役割 【千葉県議会】「千葉新政策議員団」代表、総務防災常任委員会所属、武道振興部所属
●千葉県視覚障害者福祉協会評議員 ●千葉県立我孫子・湖北特別支援学校後援会顧問 ●手賀沼水環境保全協議会顧問
●千葉県環境審議会委員（水環境部会） ●一般国道 356 号整備促進期成同盟顧問 ●松戸健康福祉センター運営協議会委員など

各種 SNS でも情報発信をおこなっています

Facebook X Youtube